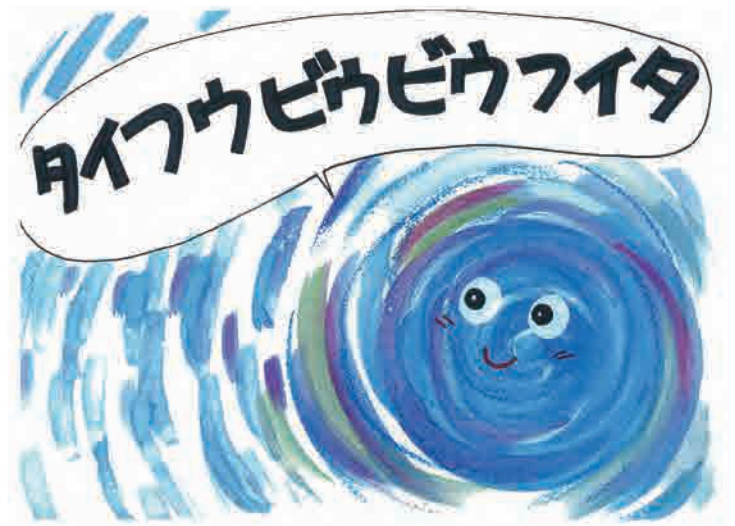


# 目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (ことば編)
- 3 童謡 村祭り
- 4 回文 タイフウビウビウファイタ
- 5 今月の詩 この道 北原白秋
- 6 たし算 6の段
- 7 ことわざ 人の口に戸は立てられぬ 人のふり見て我がふり直せ  
百聞は一見にしかず 一筋なわで行かぬ  
ひとり相撲をとる
- 8 かけ算 7の段
- 9 俳句 正岡子規 与謝蕪村 松尾芭蕉
- 10 かぞえうた 3匹 6匹 9匹 (いぬ)
- 11 なぞなぞ
- 12 手あそびうた じゅうごやさんのもちつき
- 13 今月のうた 円周率のうた
- 14 慣用句 腹を探る 手があく 腕が鳴る
- 15 イメージトレーニング スティーム (第6話 土星探検)  
(イメージしてみましょう)
- 16 おはなし 若返りの水
- 17 漢詩 秋 日
- 18 百人一首 皇太后宮大夫俊成 源重之 中納言家持 陽成院
- 19 復習コーナー
- 20 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

タイフウビウビウファイタ



この道<sup>みち</sup>

きたはらはくしゅう  
北原白秋

この道<sup>みち</sup>はいつか来た道<sup>きみち</sup>  
ああ そうだよ  
あかしやの花<sup>はな</sup>が咲<sup>さ</sup>いてる

あの丘<sup>おか</sup>はいつか見た丘<sup>みおか</sup>  
ああ そうだよ  
ほら 白<sup>しろ</sup>い時計台<sup>とけいだい</sup>だよ

この道<sup>みち</sup>はいつか来た道<sup>きみち</sup>  
ああ そうだよ  
お母<sup>かあ</sup>さまと馬車<sup>ばしゃ</sup>で行<sup>い</sup>ったよ

あの雲<sup>くも</sup>はいつか見た雲<sup>くも</sup>  
ああ そうだよ  
山査子<sup>さんざし</sup>の枝<sup>えだ</sup>も垂<sup>た</sup>れてる



# ことわざ

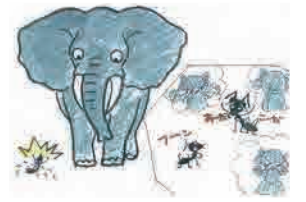
ひと くち と た  
人の口に戸は立てられぬ  
せ けん うわさ ふせ むずか  
世間の噂を防ぐことは難しい。



ひと み わ なお  
人のふり見て我がふり直せ  
た にん ふ ま こうどう み じぶん ふ ま あらた  
他人の振る舞いや行動を見て、自分の振る舞いを改め  
なさいということ。



ひゃくぶん いっけん  
百聞は一見にしかず  
ひと はなし なん ど き いち ど じっさい じぶん め み  
人の話を何度も聞くよりも、一度実際に自分の目で見  
た方がよい。



ひとすじ  
一筋なわでいかぬ  
ふ つう かた  
普通のやり方ではうまくいかない。



ずもう  
ひとり相撲をとる  
じぶん は き ものごと と く  
自分ひとりが張り切って物事に取り組み、むなしい  
けっか お  
結果に終わること。



# 俳句

あか 赤とんぼ つくば 筑波に くも 雲も なかりけり

まさおか しき  
正岡子規



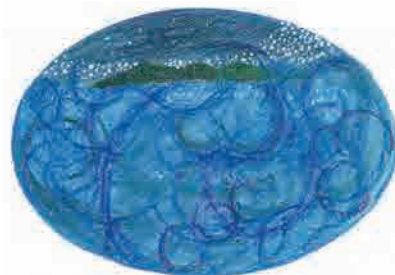
かど 門を で 出れば われ 我も ゆく 行く人 ひと あき 秋のくれ

よ さ ぶ そん  
与謝蕪村



あらうみや 佐渡に 横たう 天の川

まつ お ば しょう  
松尾芭蕉





# なぜなぜ

- 1 つかれてしまった時、乗りたくなる動物はなあに？
- 2 人が乗れるものだけど、前や後ろには進めなくて、上下にしか行かないものなあに？
- 3 陸の上ではけがをした人や病気の人を運ぶのに、海の上では石油を運ぶものなあに？
- 4 道で拾っても交番に届けなくてもいいものなあに？



## 《じゅうごやさんのもちつき》

☆【つきて】と【こねて】にわかれてむかいあう

① じゅうごやさんの  
もちつきは



【つきて】 【こねて】

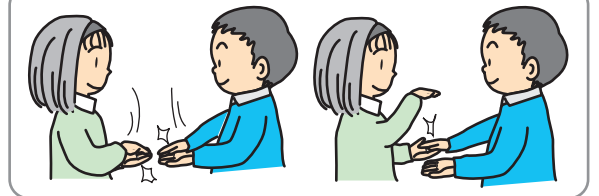
みぎ<sup>て</sup>手<sup>うえ</sup>を上から4かいうちおろす。  
【つきて】は、さいごまでのこの  
うごきをくりかえす。

② トーントーン



【こねて】は手<sup>て</sup>を上<sup>うえ</sup>から  
2かいうちおろす。

③ トッテッタ



じぶんのひだり<sup>て</sup>手をたたく。♪テッの  
ときだけ【つきて】のひだり<sup>て</sup>手をたたく。

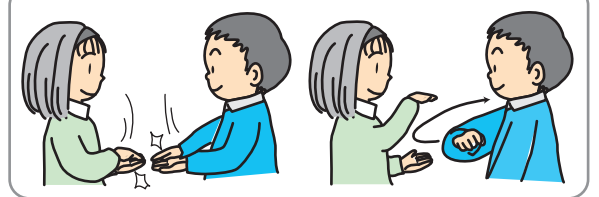
④ トーントーン  
トッテッタ

②～③を  
くりかえす。

⑤ トッテトッテ  
トッテッタ

♪テッのときだけ  
【つきて】のひだり<sup>て</sup>手を  
たたく。

⑥ おっこねた おっこねた  
おっこね おっこね おっこねた



♪こねのとき、【つきて】のりょう<sup>て</sup>手の  
あいだをえんをかくようにまわす。

⑦ トツツイタ トツツイタ  
トツツイ トツツイ トツツイタ



♪トツで手<sup>て</sup>をたたき、♪ツイタで、  
【つきて】のりょう<sup>て</sup>手のあいだに  
りょう<sup>て</sup>手をさしこんでひっこませる。

⑧ シャーン シャーン ⑨ シャン



【つきて】の上<sup>うえ</sup>を2かい  
たたく。

上<sup>うえ</sup>をたたく。

⑩ シャン



なか  
中をたたく。

⑪ シャン



した  
下をたたく。

⑫ シャン シャン シャン シャン  
シャン シャン シャン

した<sup>した</sup>・なか<sup>なか</sup>・うえ<sup>うえ</sup>・なか<sup>なか</sup>  
した<sup>した</sup>・なか<sup>なか</sup>・うえ<sup>うえ</sup> のじゅん<sup>て</sup>で手をたたく。

# 今月のうた

## 《円周率のうた》

円周率を 50桁まで 覚えよう

(3.14159265358979.....)

石の上に イチゴをおき 靴で踏んだ 婚殿は  
サンゴと 野球がしたいと 泣く

ミニの 宮と城の ふろくが欲しい  
シーサーは 山野で 札なくす

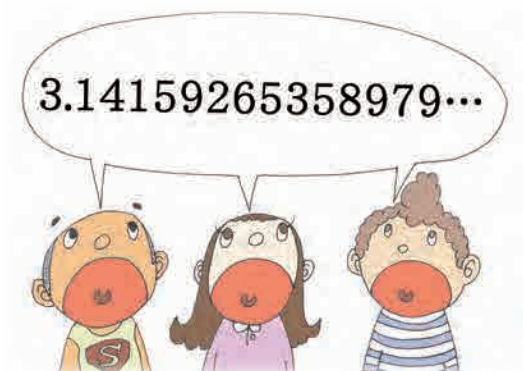
ゴマがふやけて 橋になり

とおくないところにある

ロックの 柵の 草のそば

七つ子が ジュース飲む

かんたん かんたん 円周率50桁





はら さく  
腹を探る

それとなく相手の心の中をうかがう。



て  
手があく

仕事に切れ目ができて暇になる。

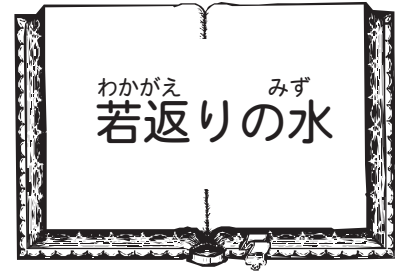


うで な  
腕が鳴る

自分の腕前を見せたくて、うずうずする。



# おはなし



「わかがえ 若返りの水」は、おじいさんとおばあさんが水を飲んで  
わかがえ 若返るお話です。  
お話を聞いた後で、質問にこたえてみましょう。

- 1 おじいさんが、おばあさんから頼まれて探していたのは  
何ですか。
- 2 水を飲んだおじいさんは、どうになりましたか。
- 3 山から帰ってきたおじいさんを見て、おばあさんは何が  
化けているとおもいましたか。
- 4 おばあさんは若者を見て、どうしておじいさんだとわか  
りましたか。
- 5 水を飲んだおばあさんは、どうになりましたか。
- 6 もしあなたが年をとってわかがえ 若返りの水を見つけたら、どう  
しますか。



秋しゅう

日じつ

耿こう

滄さい

返照へんしょう 閭巷りやうに入る  
憂うれい 来きたるも 誰たれと 共ともにか 語かたらん  
古こ道どう 人ひとの 行ゆくこと 少まれに  
秋風しゅうふう 禾黍かしよを 動うごかす

百人一首

世の中よ

道こそ

山奥にも  
鹿ぞ鳴くなる

(皇太后宮大夫俊成)

風を

岩をいたみ

岩うつ波の  
おのれのみ

(源)

重之

かささぎの

渡せる橋に

白きを  
置く霜の

(中納言家持)

筑波嶺の

峰より

恋ぞつもりて  
みな  
淵となりぬる

(陽成院)



源重之